

外構リフォームで 植栽を美しく彩るための 5つのポイント

P I C T U R E G U I D E



目次

- 外構空間をおしゃれに彩る植栽の種類
- 外構リフォームで植栽を植えると空間にもたらす効果
- 外構リフォームで植栽の依頼をする前に考えておきたいこと
- 外構リフォームを植栽で美しく彩る5つのポイント
- スタンプコンクリートは植栽をおしゃれに見せる最適なアイテム





はじめに

外構リフォームにはさまざまな種類がありますが、とくに植栽は空間を彩るだけでなく、四季を感じられるのが魅力的な施工です。

この資料では外構リフォームで用いられる植栽の種類から空間を美しく彩るコツについてご紹介します。ぜひ理想のイメージを実現するための参考にしてください。

外構空間をおしゃれに彩る植栽とは？



植栽は、庭や建物周りなどに植える植物のことで、景観美だけでなく、目隠しや防災機能も持っています。

商業施設では屋上にもよく使われ、訪れる人の癒しや美しさを提供します。また、災害時にも役立ち、公園や緑地は避難場所として利用され、植栽は目印として重要です。

さらに、高層ビルの落下物から守ったり、火災の拡大を遅らせたりする役割もあります。

植栽は美しさだけでなく、安全と機能性も提供する重要な要素です。

外構空間をおしゃれに彩る植栽の種類

緑溢れる植物は見るヒトに明るい印象と癒しを与え、心と暮らしに豊かさをもたらしますが、家の外観が物足りなく感じる場合や、もう少し華やかな見栄えにしたい場合にぜひ取り入れていただきたい外構リフォームのひとつです。

植栽は建物や街並みの印象をワンランクアップすることができる施工ですが、外構リフォームでよく用いられる代表的な樹木や草花があります。

常緑広葉樹

常緑広葉樹は年中葉を落とさないため、敷地のお手入れが比較的簡単です。

人気の種類にはシマトネリコとジョウリョクヤマボウシがあり、特に外構リフォームでシンボルツリーとしてよく使われます。

シマトネリコは日当たりが良い場所を好みますが、日陰でも育てられ、空間づくりに適しています。

これらの樹木は古風な建物からヨーロピアンテイストの建物まで調和しやすく、外構リフォームに適しています。

ただし、ジョウリョクヤマボウシは水はけの良い場所を好むため、水の供給が必要です。夏の乾燥時には葉の周りが枯れやすく、樹木全体が枯れる可能性もあるため、定期的なお手入れが重要です。



落葉広葉樹

落葉紅葉樹は、春から夏に新芽や花を楽しませ、秋に美しい紅葉を魅せる樹木です。

その葉が次第に散る様子も見物です。四季折々の美しさを楽しめ、日本の風景に馴染む樹木で、外構リフォームでは主要なツリーとして使われ、ウッドデッキやテラスなどに頻繁に植えられます。

葉が散るため、お手入れは必要ですが、四季の変化を楽しむことができ、生活に豊かさをもたらします。

代表的な種類として、ヤマボウシ株立や株立が人気で、特にハナミズキはしなやかな枝が空間を華やかに演出します。また、ヒメシャラは育てやすく、美しい樹形と風に揺れる姿が爽やかな印象を与えます。



落針葉樹

針葉樹は一般住宅から歩道や店舗など幅広い場所で利用され、特に外構リフォームでは洋風の建物、例えばイングリッシュガーデンに適しています。

樹木のサイズもさまざまで、限られたスペースでも建物の周りに植えて目隠しとして有効活用できます。

多彩な色や樹形があり、敷地の広さや希望に応じて外構リフォームにお好みの種類を選ぶことができます。

特にゴールドクレストやフィリフェラオーレアなどの針葉樹が人気です。ゴールドクレストは円錐状の樹形で、シトラス系の香りが葉にあり、空間に優しい印象を与えます。

フィリフェラオーレアは垂れ下がるような枝とライムグリーンの色合い、美しい糸状の葉が特徴で、印象的なビジュアルを提供します。



多年草・宿根草

草花には一年で枯れる一年草と、冬を越す多年草があります。

特に耐寒性の多年草は、寒冷地域でも外構リフォームで使いやすいです。

宿根草は毎年花を咲かせ、手間をかけずにガーデニングを楽しむことができます。ホームセンターで手頃な価格で入手でき、クリスマスローズやガザニアが代表的な宿根草です。

クリスマスローズは女性に人気で、地植えや鉢植えで育てることができ、初心者にも適しています。

ガザニアは長い期間花を咲かせ、空間を明るく彩ります。

カラーバリエーションも豊富で、外構リフォームの理想的なイメージに合わせて選ぶことができます。



地被類（グランドカバー）

グランドカバーとして植栽される植物は、地面を美しく覆う特徴を持ち、外構リフォームにおいて床面を植物で覆うことが一般的です。

通常、外構ではコンクリートで舗装されることが多いが、これには照り返しによる温度上昇がデメリットとして挙げられます。

しかし、植物で床面を覆うことで温度上昇を緩和し、体感温度の上昇を抑制する役割を果たします。こ

れにより、空間の美化だけでなく、快適性も向上し、地球温暖化対策としても注目されています。

一般的に外構リフォームで使用する植物には、アイビーやシバザクラがあります。アイビーは星型の葉が特徴的で可愛らしい印象を与え、さらに葉の模様もハート型やカール型など様々な種類があり、カスタマイズが可能です。

一方、シバザクラは初夏になると鮮やかなピンク色で地面を覆い、明るい気分を提供します。これらの植物は床面を美しく飾りつつ、快適さをもたらす重要な役割を果たします。



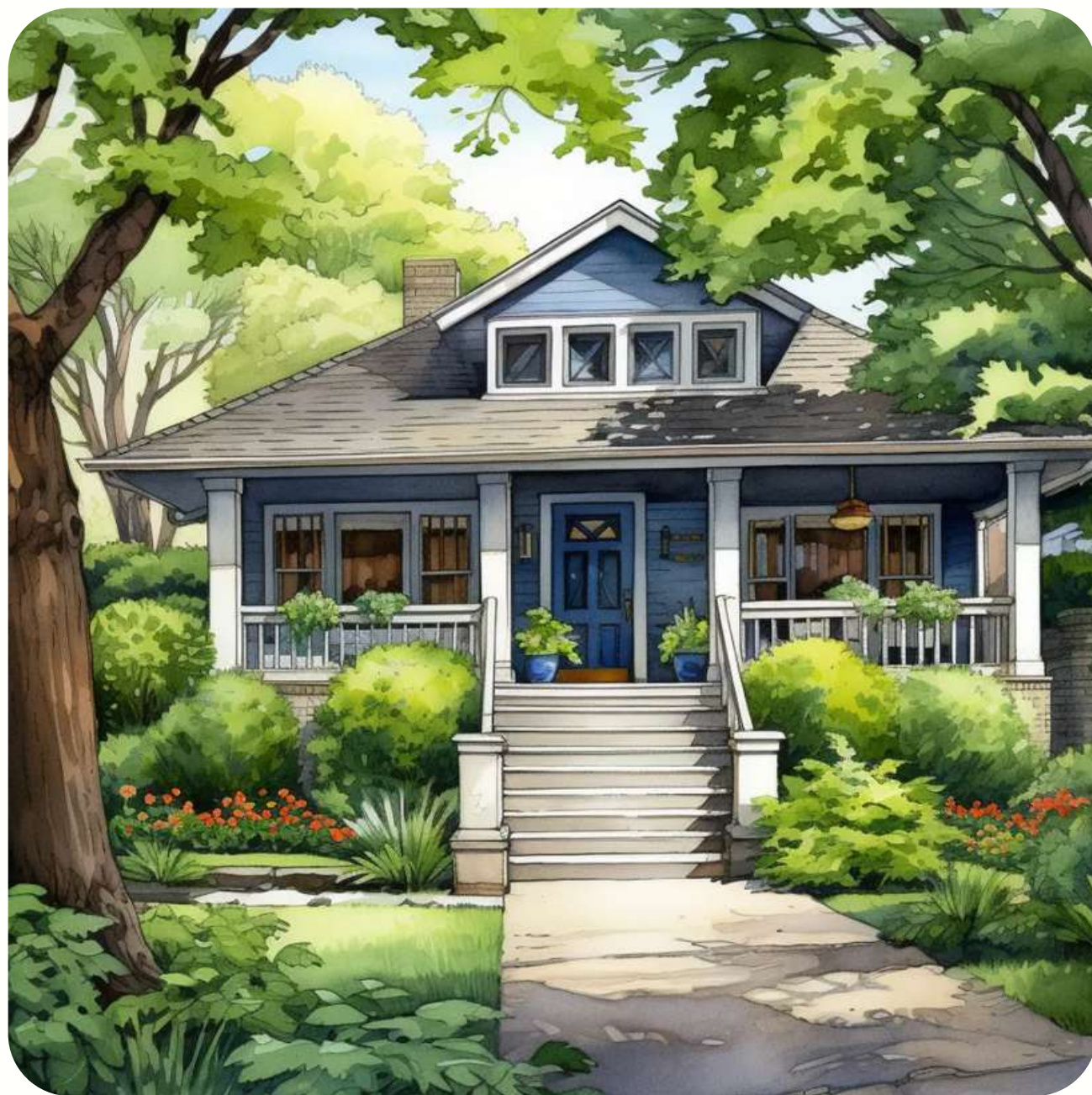
外構リフォームで植栽を植えると空間 にもたらす効果

植栽は建物の周りのエクステリア空間に草や木を植える外構リフォームのひとつですが、樹木や草木の植え込み作業が中心なので、石や地形を整える造園工事とは異なります。

外構リフォームではおしゃれなエクステリアインテリアの設置はもちろん、植栽や造園で空間のデザイン性を高めることも可能ですが、機能性を向上する施工法でもあります。

植栽をすると空間にどのような効果をもたらすのかを把握しておくことで、暮らしやすさを向上できるのでチェックしておきましょう。

真夏の暑さや真冬の風をやわらげる



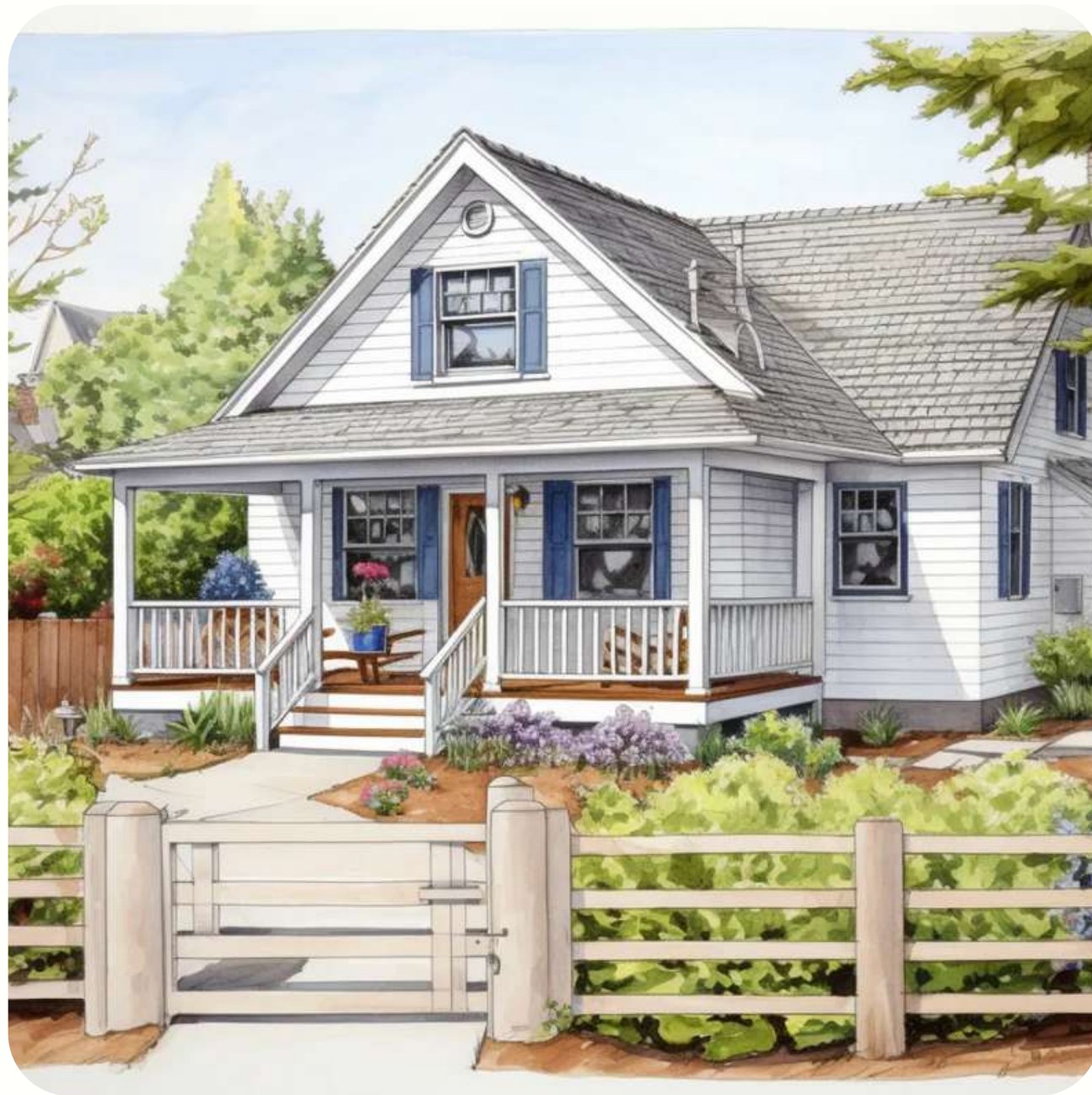
外構リフォームで植栽を活用する理由は、強い日差しからの日陰を作り、暑い夏の温度上昇を和らげるためです。

コンクリートの床は日射で高温になりがちで、植物を植えることでその影響を軽減します。

樹木は日差しを遮り、気温を下げ、体感温度を快適に保ちます。

また、寒冷な冬には風の防御としても役立ち、建物を守ります。植栽は環境を美化し、居住空間を快適で魅力的にする大切な要素です。

プライベート空間を保てる



外構リフォームでは、プライバシー保護や視線遮断にフェンスやブロックを使うことが一般的ですが、植物を生垣として活用することもあります。

植栽の垣根は暖かみがあり、美しい景観を提供します。大きな樹木や草花のカラフルな彩りは魅力的で、プライバシーを守りながら自然の美しさを楽しめます。

また、植物は視線遮断だけでなく、音の吸収と防音効果も持っており、静かな環境を提供します。

これにより、庭でのアクティビティや家族の楽しい時間を近隣に気兼ねせずに楽しむことができます。植物を使った外構リフォームは美しさと快適さを両立させ、自然と調和した居住環境を作り出します。

ガーデニングを楽しむ



外構リフォームの植栽は、美しい景観を演出するだけでなく、果物を実らせる植物を育てる楽しみも提供します。オリーブやブルーベリーなどの実を収穫しながらガーデニングを楽しむことができます。

ガーデニングは季節の変化を感じながら楽しむだけでなく、植物の成長を見守り、愛着を育む喜びがあります。収穫した植物を調理し、食卓に彩りを添えることで、達成感や満足感が得られ、家族の思い出も増えるでしょう。

近年、自分の庭を写真に収めてSNSに投稿することも、ガーデニングの楽しみ方の一つとして人気です。

景観を楽しめる



外構リフォームにおける植栽は、美しい景観を魅力的に彩ることができ、視覚的な魅力を高めます。適切な植物と配置により、開放的な空間を演出することも可能です。

また、緑は癒しを提供し、鮮やかな花々は日常の疲れやストレスを和らげ、気分を明るくします。植栽は心地よい雰囲気醸し出し、生活の質を向上させる一助となります。

植栽には多くの種類があり、一年を通じて花を楽しむものや四季折々の変化を楽しむものがあります。植物の選択は外構リフォームの楽しみの一部であり、自分の好みに合わせて選ぶことができます。

さらに、建物周りに植栽を配置することで安全な環境を作り出し、子供たちが安心して遊べるスペースを提供することもできます。道路からの安全な距離を確保し、遊びやすいエリアを確保できます。

外構リフォームで植栽の依頼をする前に 考えておきたいこと

外構リフォームで行う植栽は、エクステリア空間だけではなく家全体の印象にも大きな影響を与えます。

納得のいく空間に仕上げるためにも業者に依頼する前に考えておきたいポイントが3つあります。

庭木を植える目的を 明確にすること

外構リフォームにおいて、植栽の選択は目的に合わせて異なります。

記念樹としてはシンボルツリーが選ばれ、景観を美しくしたい場合には花や実の樹木や紅葉を楽しむ樹木が適しています。

視線遮断が必要な場合には、密集した枝葉の樹木がプライバシーを守ります。

植栽の目的を明確にすることで、最適な樹木を選びましょう。

植える場所と植物の 成長速度を考えること

美しい景観を維持するために、植栽の手入れ負担を軽減することが大切です。

植物は成長条件に合わせて選ぶことが重要で、日当たりや日陰の好み、葉や実の落下に注意が必要です。

日陰を好む植物は日当たりの悪い場所でも育ちやすいです。

また、葉や実が落ちる植物は、デッキや縁側の上に植えると掃除が煩わしくなります。

植栽場所を検討し、外構リフォームを計画しましょう。

専門知識を知ること

植栽は植物の正しい条件と管理が必要です。専門的な知識と実績のある業者に依頼することが肝要です。

適切な深さの穴を掘り、土壌を整え、植物を慎重に植えます。根付くまでの時間を考慮し、水鉢や支柱を設置する必要があります。

業者選びに際しては、実績や口コミを確認し、専門知識とスキルを持つ施工担当者の存在を確認しましょう。



外構リフォームを植栽で美しく彩る 5つのポイント

エクステリア空間を植栽で美しく彩るためには、植物を選びや植える場所、組み合わせるインテリア選びが大切です。

デザイン性の高い空間を作るためにも外構リフォームを依頼する前に5つのコツを押さえておくことで、理想の空間演出にもつながるのでぜひチェックしておきましょう。

建物の外観デザインとあわせて植栽を選ぶ



エクステリア空間のデザインは建物の外観との統一が大切です。

洋風の建物には自然な雰囲気を持つ植物や草花が、和風の建物には四季折々の景観を楽しめる樹木が合います。

外壁の色にも注意し、暖色系の建物には濃い色合いの葉を、寒色系の建物にはナチュラルな葉を選ぶと調和が生まれます。

建物とエクステリアの調和を考えながら選びましょう。

植栽の成長に適した場所に植える



外構リフォームでは、植物の成長条件を考慮し、適切な場所に植えることで美しく育ち、手入れの手間も軽減できます。

日陰を好む植物は日差しの強い場所に植えないようにし、管理しやすい配置を心掛けましょう。

また、植物の適切なスペース確保が必要で、狭い空間に剪定が必要な植物を植えると手入れが難しくなります。

適切な環境整備を行い、植物が美しく育つように心がけましょう。

手間をかける価値がある外構リフォームの魅力です。

植栽で高低差をつけ視線に動きを出す



外構リフォームで空間をおしゃれに演出する方法の一つは、植栽を通じて高低差をつけてバランス良く配置することです。

植物をただ並べるのではなく、高さや配置に工夫を凝らすことで視覚的な魅力が増します。

特にシンボルツリーの周りに低木を配置すると、華やかでバランスの良い空間が生まれます。

背の高い木の配置には注意が必要で、直射日光を好まないことを考慮し、低い木を植えて遮光や保水効果を高めることが大切です。

美しい景観を維持するために、植物の特性と配置に配慮しましょう。

おしゃれ感が高まる植栽を植える



おしゃれな外構空間を演出するためには、特定の植物が人気です。

シマトネリコ、オリーブ、ハナミズキ、キンモクセイ、アオダモなどがその一例です。

建物が洋風の場合、針葉樹林であるコニファーを植栽することで、洗練された雰囲気醸し出します。

葉の色も多彩で、緑、青、黄、シルバーなどから選ぶことができ、自分らしい空間をカスタマイズできます。

和風の建物には、赤松、黒松、五葉松など力強い植物で外構リフォームすると、重厚感を演出できます。

四季を楽しみたい方には、落葉樹がおすすめで、自然を感じながら木造建物と調和します。

デザイン性の高いスタンプコンクリートを 組み合わせる



外構リフォームで植栽をおこなう際には、アプローチ・門扉・門壁といったスペースに使用する素材やインテリアをデザイン性の高い素材を選ぶことが大切です。ナチュラルな雰囲気イメージしている場合には、木材やレンガ、タイルといった暖かみを感じることができる素材を選びましょう。

南国風な空間に仕上げたい場合には、土を成形し乾燥させ焼いたタイルを外構リフォームで用いることが多く、土の柔らかな味わいを感じることができるのが魅力です。

和の雰囲気を取り入れたいなら、砂利や竹、枕木といった素材がおすすめです。素材にはさまざまな種類ありますが、スタンプコンクリートを用いた外構リフォームであれば、本物の素材と同様に風合いや質感を表現でき簡単にデザイン性の高い空間作りを実現できます。

スタンプコンクリートは植栽を おしゃれに見せる最適なアイテム

スタンプコンクリートは、コンクリートに模様を押し付けることで、本物の素材のような外観を持たせる施工法です。

弊社はスタンプコンクリートを用いた外構リフォームに豊富な実績があり、植栽を魅力的に演出するだけでなく、機能性も考慮しています。

さまざまなカラーオプションがあり、シンプルなカラーや暖色系など、外観やイメージに合わせてカスタマイズが可能です。

また、型のバリエーションも多彩で、枕木、タイル、レンガなどの種類があり、理想のデザインを実現できます。



まとめ

外構リフォームの中で、植栽は彩り豊かな植物や草花を使い、空間を魅力的に演出します。

さらに、外部からの視線遮断、防風、日差し遮断にも有効で、生活の快適さを向上させます。植栽の選択や配置は美しい景観づくりに重要です。

吉村建設はスタンプコンクリートを用いた外構リフォームでおしゃれな空間を提供し、長年の実績と高い技術力を持っています。

空間づくりに悩む方は、LINEで気軽に相談してください。

